

<資料4-1> 令和3年度実施状況について【幼年就学期部会】

テーマ：子どもと親の居場所づくり+(プラス)

基本理念

【幼年期】誰もが安心して子どもを生み育てることができ、子どもがいきいきと健やかに育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら妊娠・出産・育児・就学前保育・教育を香南市がサポートしていく施策を展開します。また、香南市で子どもを生んで育てたいと思える環境づくりを展開します。

【就学期】豊かな心を持ち、たくましく健やかに子どもが育つ環境を整えるために、家庭・地域・関係機関と連携しながら、香南市がサポートしていく施策を展開します。また、地域社会の見守り、就学支援、質の高い教育環境を整えることなどによって、香南市で子どもを育てたいと思える環境づくりを推進します。

R3年度 部会で深掘りする問題点	R3.6.23 部会での意見	現在の状況	R3年度の取り組み	R6に目指す姿
<p>【保育等の受入態勢】 (主体：こども課) 保育所・幼稚園・児童クラブ等では、加配保育士や支援員不足などにより、子どもたちの受入態勢に懸念が生じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児が増える中、専門的な知識や技能を持った方を効率的に活用できるよう、関係機関が連携して支援体制を構築できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の定数は確保できたが、加配職員の配置要望にすべて対応できていない。 ・児童クラブでは支援員はほぼ確保できたが要支援児の対応に苦慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や支援員募集に関し、継続して、チラシや口コミなど広報手段の拡大を図る。 ・スクール・ウォーカー、いきいき香南っ子相談事業の専門相談員などの協力による支援体制を構築する。 	<p>プラス発信力(発信の仕方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こどもたちが安心して過ごせる「居場所」がある。 ◆その「居場所」を継続するためのサポート体制を構築する。
<p>【公園の整備・周知】 (主体：建設課、商工観光課、部会事務局) 安全に遊べる公園が少ない。どんな公園があるのかわからない。(遊具種類、手洗い場、駐車場の有無など情報不足)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・のいち動物公園の入園パスポート配布は非常に嬉しかった。 ・手洗い場があっても汚そうな公園や草刈りが十分でない公園は、安全面から遊ばせたくない。 ・子育ておでかけスポットに赤岡町分がないので改訂時掲載を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勧め公園の条件等の決定及び選定を準備中。 ・「香南キッズ」サイトのリニューアルに合わせ、手洗い場や駐車場等の設備情報を写真や動画で提供できるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のいち動物公園の入園パスポートを小学生までの保護者にプレゼントする。(6月案内) ・「香南キッズ」サイト及び「子育てガイドブック」の改訂時に、QRコード付きマップページを作成する。(10月完了予定) 	
<p>【朝食の摂取】 (主体：健康対策課、学校教育課) 朝食を摂らない、摂れない子どもがいる。保護者に必要性を啓発しても改善されないケースもある。レシピ情報を得ても実際に作ることに繋がっていない場合もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけレシピが紹介されても見る時間がない方もいるため、YouTubeで発信していることをもっと周知する必要がある。 ・レシピは短時間で作れるもの、前日に作り置きができるものなど紹介メニューに工夫が必要。 ・GIGAスクール構想の一人一台端末を活用して動画を見られたらいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeを活用して離乳食や簡単にできるレシピ等を情報発信しているが閲覧者がまだまだ少ない。 ・離乳食相談のオンライン相談窓口を開設中。 ・香南市食育推進検討委員会で「食育だより」を作成し、市内の保幼小中の児童生徒に配布。(約3,500枚) 	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeでメニュー追加と啓発資料をあわせて情報発信する。(ケーブルテレビでも取り上げてもらう) ・「食育だより」は、継続して作成・配布する。 ・全小学校5年生の朝食づくり事業を実施し、朝食献立のレシピ動画を紹介する。 	

★R3年度バージョンアップ【PICK UP!】

- (新規)県立のいち動物公園入園パスポートをプレゼント…子育て支援策として市内の小学生までの保護者にプレゼント。(6月末現在、1991世帯案内176世帯交換済)
- (拡充)「香南キッズ」サイト及び「子育てガイドブック」の改訂…サイト見出し項目の再構築、写真・動画の配信強化、メッセージ配信への対応改修及び冊子作成。
- (拡充)学校教育環境の整備…GIGAスクール構想による1人1台端末のより有効な活用を図るため環境整備を進める。
- (新規)子育て応援チケット事業…コロナ対策の一環として、子育て世帯(対象児童H15.4.2～R3.6.1生)への経済的負担の軽減を図るため10,000円のチケット交付。

<資料4-2> R3年度 実施状況について【成年熟年期部会】 テーマ：健康で楽しく地域で暮らすことができる。

基本理念

【成年期】 誰もが参画できる地域社会を形成し、新たな出会いがあり、家庭を築き、安心して子どもを産み育てられ、生きがいを感じられる生活環境づくり、活気ある地域社会の形成を支援する施策を推進します。

【熟年期】 にぎわいとゆとりを感じ、健康で世代間交流や地域社会に貢献する喜びを感じられる環境づくりを推進します。

R3年度 部会で深掘りする問題点

これまでの部会・策定委員会での意見

現在の状況

R3年度今後の取り組み

R6に目指す姿

【人権啓発】

(主体：生涯学習課、人権課)

新型コロナウイルス感染症や障害、様々な特性に応じた配慮等への理解が進んでいるとは言えない状況であり、今後も啓発が必要。

- ・ 偏見、誹謗中傷は、正しい知識などに基づくものではなく、感染者の責任のような認識や、個人的な攻撃となっている。
- ・ 正確な情報や意見をもっていたとしても伝えることができない、意見を言えない圧力のようなものを感じる。

- ・ 新型コロナウイルス感染者や家族の方の相談は、赤岡、吉川市民館、人権課の窓口で相談を受け付けている。また、高知県精神保健福祉センター等の相談窓口も香南市HPや広報等で掲載している。
- ・ 人権侵害につながるような人権の配慮について香南市HPや広報誌で啓発を行っている。

- ・ 今後も他課や関係機関との相談窓口と連携を密にしていく。また、「障害者」の人権として市民向けの研修会を開催予定。
- ・ 様々な人権課題について学ぶ場の提供と苦しんでいる方がいつでも何処でも話すこと（開放）のできる環境づくりを行う。



【移住促進】

(主体：地域支援課)

移住から定住、そして地域の活性化につながるため、移住・定住施策の効果的なPRや、移住後のアフターフォローへの取り組みが必要。

- ・ Uターン、Iターンで移住を考えている人は、横のつながりが欲しいと思っているのでコワーキングスペースの整備等があればよいと思う。
- ・ 移住対策よりも転出を防ぐ、住みやすい生活にすることが求められているのではないかと。

- ・ 移住者同士をつなげるコワーキングスペースの整備等について、関係課での検討が必要である。
- ・ 住み続けたいと思ってもらえる施策や支援を人生支援計画で考えている。
- ・ 移住後、定住につながるためのアフターフォローが必要である。

- ・ コワーキングスペースの整備等について、関係課と検討する。
- ・ 空き家バンク物件の掘り起こし等、地域と連携した移住促進や、関係課が連携した人生支援に引き続き取り組んでいく。
- ・ 移住者交流会の開催等、移住後のアフターフォローに取り組む。

◆ウォーキング&サイクリングで健康増進
◆住みたいまち、住んで良かったと思えるまちになる。



人口増につながる



【健康増進】

(主体：健康対策課、生涯学習課、商工観光課)

心身共に健康で楽しく暮らすための支援が必要。

- ・ 塩の道、あじさい街道、三宝山や物部川の河川敷、海もあり、香南市の環境は県下ではないかと思う。「けんこうなんし(健康+香南市)」としてPRできるのではないかと。
- ・ 健康への対策は習慣化すること。習慣化まで持っていききっかけづくりが大事。




- ・ 7月から毎月第1日曜日を健康サイクリングの日に設定。サイクリングターミナルを会場に座学と自転車体験をセットとした健康サイクリングを開催。
- ・ 誰もが分かるウォーキング&サイクリング用パンフレットを作成。(準備中)
- ・ 自転車活用推進計画を策定中。

- ・ パンフレットを活用して健康サイクリング・健康ウォーキング事業の普及を行い、健康で生きがいをもち生活できる基盤づくりを行う。
- ・ 健康体操など軽スポーツの充実を図り、「食のあり方」など健康と美容も含めた事業を検討。
- ・ 公共施設からの距離を市道等に目印をし、歩いた距離が分かる「見える化」事業を検討。

★R3年度 バージョンアップ【PICK UP!】

- ・ 地域おこし協力隊起業等支援事業(新規) … 香南市に着任している地域おこし協力隊の起業等を支援するもの 1件上限100万円
- ・ 結婚新生活支援事業(拡充) … 新婚世帯の新生活に係る費用を補助 1件上限30万円(親世帯と同居近居加算有) ※R3～年齢・所得制限の緩和
- ・ 道の駅やす 観光サイクリング事業(新規) … 道の駅やすにレンタサイクル施設を整備。市民の健康増進や観光施設周遊の促進を図る。

【高齢期】健康で長生きできる環境、地域交流や世代間交流を楽しめる環境づくりによって香南市に住んで良かったと思える、地域での支え合いのある安全・安心な環境づくりを推進します。

R3年度 部会で深掘りする問題点	これまでの部会・策定委員会での意見	現在の状況	R3年度今後の取り組み	R6に目指す姿
<p>【移動支援】 (主体:高齢者介護課・地域支援課)</p> <p>「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」</p> 	<p>・「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」…取組方法を考えないとなかなか進まないのが現実だと思う。</p>	<p>・「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」…移動支援コーディネーターとして、地域おこし協力隊の雇用が決定。(R3.9月～雇用予定)</p>	<p>・「住民主体の移動支援の受け皿づくり事業」…移動支援コーディネーターを中心に、地域ニーズの調査や活動方法の情報収集を行う。また、運転ボランティアとの情報交換等を行い、新たな取り組みを検討する。</p>	<p>◆高齢となり、虚弱となっても認知症となっても、できる限り住み慣れた自宅でこれまでの生活を続けていける環境</p> <p>◆地域での支え合いがあり、住んで良かったと思える環境</p>
<p>【担い手の育成】 (主体:高齢者介護課)</p>  <p>生活支援サービスを提供する担い手が不足している</p>	<p>・報酬が少ないため、ボランティア的要素を強調した募集が望ましい。 ・シルバー登録者のみでは限界があり、若い人材に対象者を広げることが必要ではないか。</p>	<p>「軽度生活援助事業」…援助員が足りておらず、利用者へのサービス提供がスムーズにできないことがある。 「シルバー人材センター登録者数」…高齢化により減少傾向にある。</p>	<p>・市広報誌やチラシ・CM等を活用し、担い手募集を広く周知する。 ・社会福祉協議会やシルバー人材センターで実施している支援サービスを洗い出し、現状と課題を把握したうえで、担い手の発掘を目指す。</p>	
<p>【ごみ出し支援】 (主体:高齢者介護課・環境対策課)</p> <p>「高齢者(要支援・要介護)のごみ出しに困っている」という現場の声がある。</p>	<p>・他自治体では、ゴミ集積所を増やしたり、集積所の場所を見直したりして対応しているところもある。ごみ出しができないと健康的にも問題が出てくるので支援が必要。</p>	<p>・「高齢者可燃ごみ戸別回収事業」… R3年度から新たに実施。(シルバー人材センター派遣職員2名により5月から毎週月曜日に回収を実施:対象者7名)</p>	<p>・ごみ出しが地域や家族との繋がりになっている場合もあるので、今後、対象者等拡充する場合は、ケアマネ連絡会等で意見を聞きながら検証・改善をしていく。</p> 	

★ R3年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】

医療機関送迎サービス事業(拡大)【高齢者介護課】…R3年度から新たに要支援1, 2の方を対象に加える。
 高齢者可燃ごみ戸別回収事業(新規)【高齢者介護課、環境対策課】…家族等による支援が困難な高齢者(要介護の方)を対象に可燃ごみの回収を行う。
 高齢者の移動・外出支援の受け皿づくり(新規)【高齢者介護課、地域支援課】…地域おこし協力隊を雇用し、移動・外出支援の受け皿づくりに取り組む。